

平成30年度学力検査（A日程・B日程）出題の方針

1 全体の方針

中学校学習指導要領にそって、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の力をみるものとする。

出題に当たっては、次のとおりとする。

- (1) 中学校における日常の学習活動に基づく内容とする。
- (2) 各教科においては、一部の領域に偏らないようにする。
- (3) 検査時間等を考慮し、適切な問題量とする。

2 各教科の内容

(1) 国語

「書くこと」、「読むこと」の2領域と〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について、基礎的・基本的な知識・理解と、国語を適切に表現し正確に理解する力をみるものとする。

(2) 社会

「地理的分野」、「歴史的分野」、「公民的分野」から均等に出題し、社会的事象について、基礎的・基本的な知識・理解と、資料などに基づいて多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や適切に表現する力をみるものとする。

(3) 数学

「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の4領域について、基礎的な概念や原理・法則の理解と、それらに基づき、数学的に考察したり、表現したり、処理したりする力をみるものとする。

(4) 理科

「第1分野」、「第2分野」から均等に出題し、自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識・理解と、観察・実験などを通して科学的に考察したり、適切に表現したりする力をみるものとする。

(5) 英語

「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の3領域について、基礎的・基本的な知識・理解と、英語によるコミュニケーション能力をみるものとする。

3 その他

- (1) 国語の漢字の出題については、学習指導要領に基づき、教科書に掲載されているものを範囲とする。
- (2) 英語のB日程の出題については、「聞くこと」の領域を除く。